



JAC北九だより

No.84 (平成30年 第2号)

公益社団法人 日本山岳会 北九州支部

kitakyushu Section of The Japanese Alpine Club

発行:公益社団法人 日本山岳会北九州支部
 支部長 関口 興洋
 事務局: 行橋市東泉3-18-10
 竹本 正幸方
 TEL-FAX 自宅 0930-28-9611
 携帯 090-6739-9251
 編集人: 事務局(森 義雄)
 印刷: 山口県山口市水の上町2-25
 内 藤 製 本 所

登山計画書の提出について

(公社) 日本山岳会北九州支部
 支部長 関口 興洋

会員の皆さまへ

<全ての山行に対して計画書を提出することになりました>

日本山岳会本部の指示で各支部での月例山行はもとより、同好会、個人山行の登山計画書をすべて本部の遭難対策委員会に提出することになりました。

通常会員の皆さまは、本部会報誌「山」(2018年2月号)に同封された「遭難対策規定の改定」について「登山計画書の提出方法」をご覧ください。

本部遭難対策規程では

1. 支部や本部委員会・同好会においては、その組織内で行うすべての山行(主催山行にとどまらず個人山行も含む)の登山計画書を受理し適切なチェックを行う体制を整える。
そのチェックを通った計画書、またはチェック結果として修正された計画書を遭難対策委員会に提出することとする。
2. 支部や本部委員会又は本部同好会のいづれにも所属しない本会会員の個人山行の登山計画書は直接、本部の遭難対策委員会へ提出することとなった。
3. この規程は2017年12月25日より施行する。

※要約すると

- ① すべての会員を対象に、山地・山岳地域等で行う山行活動の際、それがたとえ個人山行でも、山行計画書を提出するよう義務つけることになりました。
- ② 計画の受理点検のため支部にチェック機関を

設置する。従来の安全委員会を「安全対策委員会」に改める。

- ③ 「安全対策委員会」は計画の修正内容などがあれば山行リーダーに連絡をすること。

修正・確定した計画書を本部遭難対策委員会に提出する。

- ④ 計画書には留守本部担当者を2人以上記載すること。

- ⑤ 本部遭難対策委員会は、事故発生時に必要な対応、行政機関への情報連絡等のため登山計画書を一定期間保管する。内容の妥当性には一切関知しない。

- ⑥ 留守本部担当者は、遭難事故があった場合は事故情報を本部遭難対策委員会に連絡する。

従いまして

- ・ 北九州支部では、登山計画書チェックのため参加申し込み締切り日を以下のようにします。
 - ①日帰りは3週間前
 - ②宿泊山行は1か月前
 - ③日本アルプス等(海外遠征を含む)の遠征山行は3か月前
 - ④ポレポレは2週間前
 とします。
 山行参加者が確定後、すみやかに計画書を作成して「安全対策委員会」に提出する。
- ・ 安全対策委員会は、山行計画についてすみやかに検討して、修正内容等を山行リーダーに連絡する。
- ・ 提出する計画書は、本部の「計画書ひな形」を参考に支部で作成した様式とします。

＜山行活動の登山中および下山後報告＞

- ①支部留守本部担当者は、安全対策委員会の委員が担当する。
- ②留守本部は2人以上とする。
- ③山行終了後、山行リーダーはすみやかに留守本部に下山報告する。
(携帯電話のショートメールも可能)
- ④下山報告を確認した後、留守本部は解散する。
- ⑤下山報告がない場合は、留守本部担当者は山行リーダーへ電話で問い合わせを行う。
- ⑥遭難事故発生時の連絡については本部「遭難対策運用要領」に準ずる。

＜他の組織等が開催する山行等へ参加の場合の取り扱い＞

- 以下の各号に該当する場合は適用しない。
- ①他の組織、団体または山行ガイド等が開催する山行、講習会等（主催者により登山計画書及び参加者名簿等が適切に作成されているものに限る。）に参加する場合。
 - ②他の山岳会において実施される山行（当該山岳会により登山計画書が適切に作成されているものに限る）に参加する場合。

**12月2日～3日
年次晩餐会に参加して
13532 馬場 基介**



晩餐会会場ステージで本部役員との写真撮影

平成29年12月2日～3日、年次晩餐会に初めて参加しました。今回支部からは9人の参加です。
会場は、東京都新宿区京王プラザホテル午後6時からの開会に先立ち、催し物と常設コーナーが設け

られ、「山岳写真展」「図書交換会」「グッズ販売」「講演会」等が実施されました。「山岳写真展」には皇太子殿下の作品も特別展示されました。

午後6時、参加者約500人の晩餐会の開会です。会長挨拶、東宮侍従長伝達の出席できなかった皇太子殿下のお言葉、物故者への黙祷、新永年会員顕彰の後、新入会員の紹介があり、三宅会員も壇上へ上りました。乾杯の後、歓談に入り、各支部員との交流に移りました。途中の、支部紹介では、大きなエールを送りました。盛会の中、健康と来年の再会・各支部の発展を祈念して閉会となりました。

翌日は、記念懇親山行「足和田山・紅葉台・鳴沢氷穴」が行われ、支部から関口・竹本・大内・馬場の4人が参加しました。山梨側から、好天の富士山の眺めを満喫しました。

晩餐会参加者（9人）

- 日向祥剛・馬場基介、関口興洋・大内喜代子・竹本正幸・縄田正芳・縄手修・小林英世・三宅明子

**★★第5期(平成30年度)
指導員研修講座参加者募集★★**

現在、北九州支部では13人が指導員として認定され、活動をしています。
今年も新規指導員研修者を募集いたします。
参加者の対象は、支部会員、準会員、支部友関係なく、誰でも申込みすることができます。
経験、年齢、性別も問いません。

- 申し込み先：山中秀正（携帯080-2754-8370）
- 申込み締切り：5月6日(日)
- 開催場所の予定：若松区玄海青年の家もしくは小倉南区かぐめよし少年自然の家
- 年間スケジュールとして、
第1回5月20日(日)、
第2回9月9日(日)、
第3回1月20日(日)、
第4回2月9日(土)大山(1泊)訓練を予定しています。

第19回 通常総会のお知らせ

◎総会

と き：平成30年4月21日(土)

ところ：河内天然温泉「あじさいの湯」

住所：北九州市八幡東区河内2-3-36
(TEL:093-653-4126)

受 付：午後2時から

総 会：午後3時～午後4時

懇親会：午後5時～午後7時

会 費：懇親会参加者は5,500円

締切り：出欠・締切りにつきましては、案内ハガキ
またはメールにてお知らせします。

問い合わせ

竹本正幸(携帯090-6739-9251)

榊俊一(携帯090-8416-4194)

(注)帰りのバス時間 午後8時5分あじさいの湯発
の予定

◎総会記念山行

皿倉山～河内ダム～あじさいの湯

と き：4月21日(土)

集 合：JR八幡駅前午前10時

コース：JR八幡駅前～帆柱ケーブル下～ふれあいの家～皿倉平～ピジターセンター(昼食)～さくら広場～東河内登山口～藤棚～あじさいの湯(13:40)

携行品：一般登山用具、昼食、飲み物

※午後2時にあじさいの湯到着予定、受付後入浴

山行受付：縄手修(携帯080-8733-2738)

★★あじさいの湯までのアクセス★★

●送迎バス

- ・JR八幡駅前西鉄バス停13：25発～あじさいの湯到着13：38
- ・到津の森公園前バス停(到津の森公園側)13：40発～あじさいの湯到着13：52
到着後総会開催まで温泉入浴可(貸タオル付)

4月15日(日)

英彦山清掃登山のお知らせ

会員の皆さん、清掃登山にご参加協力をお願いします

と き：平成30年4月15日(日)午前9時から

集合場所：英彦山別所駐車場

当日の計画概要

9：00 別所駐車場集合、各団体参加人数を確認、
ゴミ袋の配布。

9：30 各団体、各人希望で、正面コース、北岳
コース、南岳コースに分かれてゴミを回収しながら登山開始。

12：00 中岳山頂到着後 昼食

12：30～13：30 頂上周辺のゴミ回収

下山後のゴミ集積場所

別所駐車場トイレ横のゴミ置き場へ。

あとは自由解散。

携行品：昼食、ゴミハサミ、軍手、背負子(2ヶ)、
紐(ザックにくくりつける)

※森林巡視員は腕章持参

ゴミ袋は、添田町役場から提供あり。

申込み：日向祥剛(携帯090-3320-7848)

奥田スマ子(携帯080-8589-0903)

事務局 竹本正幸(携帯090-6739-9251)

締切り：4月5日(木)

7月21日～22日

全国支部懇談会(北海道)のご案内

カムイミンタラ・神々の遊ぶ庭、

花と残雪の大雪山へ

日 時：平成30年7月21日(土)～22日(日)

宿 泊：層雲峡温泉「層雲閣グランドホテル」

参加資格：日本山岳会員、準会員及び関係者

参加費用：20,000円

日 程 1日目 7月21日(土)

・受付開始：午後1時～

・開 会 式：午後3時～

・記念講演：午後3時30分～4時30分

「母なる大地 大雪山に魅せられて」

講師：山岳写真家 市根井孝悦

・懇 親 会：午後6時から

2日目 7月22日(日)

交流登山(A・B・C 3コース)

Aコース：赤岳～黒岳縦走(健脚向き、所要時間 約10時間)

Bコース：黒岳～黒岳石室往復(所要時間 5時間～7時間)

Cコース：黒岳7合目散策(所要時間 約5時間)

申込み 事務局竹本正幸(携帯090-6739-9251)

※ 参加費は支部事務局でまとめて送金します。

※ 往復の交通費等は各人をお願いします。

申込み締切り：4月21日(土)

12月16日(土) 平成29年 盛り上がった支部忘年の集い

14523 榊 俊一



忘年の集いに出席した皆さん

平成29年最後の山行と忘年の集いは、山行を福岡地区の宝満山(829m)、懇親会は博多サンヒルズホテルで開催しました。参加者は懇親会31人、山行は6人でした。

午後5時から博多サンヒルズホテル玄海の間で始まり、宴会の前に全員の写真を撮り懇親会が榊と三宅の司会で始まりました。

支部長のあいさつに続き園川顧問の乾杯で懇親会がはじまりました。参加者31人全員の和気あいあいとした雰囲気でしたらば懇談が続きました。その後竹本事務局長が、今年通常会員となった三宅明子さん、三原朝彦さん、古賀照章さん、花田拓二さん、支部友の山下香代子さん、藤本和代さん、切間三徳さん、太郎良嘉親さん、菅野正道さん、金子聡さん、渡辺直樹さん、城戸剛さんの12人を紹介しました。

紹介された三宅明子さんのあいさつに続き花田拓二さん、支部友の菅野正道さん、金子聡さん、渡辺直樹さんがそれぞれ抱負をのべました。

続いて森林保全巡視員の委託状の授与式が関口支部長と磯野副支部長から行われ、その後Tシャツのオークションがおこなわれ全て完売しました。そのあと参加者31人中10人に景品が当たるくじ引きを行いました。景品については幹事が事前にモンベルで購入し準備しました。

懇親会も順当に進み、会場は会員のカラオケの唄が響き、楽しいひと時があつという間に終了となりました。

最後に全員で肩を組み、坊がつる讃歌を歌い博多手一本で最後を締めくくりました。全員が一年の締めとして楽しい時間を送った忘年の集いでした。

記念山行「宝満山」 14916 赤瀬 榮吉

当日は曇り、JR二日市駅前午前8時30分6人が集合。地元である三浦さんの車に乗り込み出発。

すると間もなく雨が降りはじめ、早めに下山するため、林道終点まで車で行くことにした。この地点は、正面登山道の2合目一ノ鳥居下、カッパを着こみ午前9時20分登山開始。ここから自然石の石段が続く。ゆっくり一歩一歩足を進め胸突き八丁の百段ガンギもバテルことなく登りきると中宮跡、平坦な道を進み分岐に出合い右は女道、左は羅漢道、真つすぐ男道へ進み、竈門岩を巻き、急な階段を登ると上宮の建つ宝満山山頂に午前10時45分に到着。

いつもにぎわっている山頂は雨のせいか誰もいない。拝礼、集合写真を撮りすぐに下り、キャンプ場小屋に午前11時に着く。小屋の周りには10人ほどが食事中で、われわれは小屋内で利用料を納め昼食タイムとした。(蛇足：小屋使用50円、泊500円、バイオトイレ100円)午前11時40分女道を通り分岐に出合い、ここから往路をゆっくり下り、午後1時林道終点に下山、このころには雨はあがっていた。2合目から登った分、時間に余裕ができ、三浦さんに竈門神社、大宰府天満宮を案内していただきました。

大宰府天満宮は参拝客で混雑し、本殿は参拝者の行列で並ぶのをやめ、脇よりお参りした。参道で名物の梅が枝餅を歩きながら食べ美味しかった。JR二日市駅で森本さんと別れ、二日市温泉を案内していただく。三浦さんは車を置き一旦帰宅しました。4人は「御前湯」源泉かけ流しの湯でゆっくり温まることができました。10分程歩きJR二日市駅に着き午後4時9分の上り電車に三浦さんも乗り懇親会の会場に向かいました。

今日の登山は、曇り時々小雨で眺望もなく物足りないものでしたが、数十年ぶり二日市温泉につかり、楽しい良い一日になりました。名所案内と車を提供していただきました三浦さん、ありがとうございました。

懇親会参加者：31人

会員：園川陽造、日向祥剛、伊藤久次郎、馬場基介、磯野文雄、高島拓生、関口興洋、山田武史、内藤正美、丹下洽、榊俊一、丹下香代子、大内喜代子、竹本正幸、竹本加代子、池田智彦、赤瀬榮吉、縄田正芳、縄手修、森義雄、歳弘逸郎、大谷恵美子、奥田スマ子、三浦利夫、塚本久嘉、清家幸三、三宅明子、花田拓二
支部友：菅野正道、金子聡、渡辺直樹

山行参加者：6人

会員：大内喜代子、赤瀬榮吉(CL)、森本信子、縄手修、三浦利夫(SL)、清家幸三

月例山行 1月7日 宮島弥山
年頭の登山と巖島神社初詣
北九501 太郎良 嘉親



宮島弥山山頂での写真

コースタイム

宮島栈橋前9:45～巖島神社参拝～多宝塔登山口
10:20～駒ヶ林11:45(昼食)12:35～弥山山頂
13:10/13:35～宮島栈橋15:20(15:30解散)

今回の山行は宮島へ行くのが初めてなので観光と併せてダブルで楽しみです。

宮島口フェリー乗り場近くの駐車場に車を駐車、フェリーで宮島へ渡り、まずは巖島神社の参拝。鹿が出迎えてくれます。

登山道は登りは多宝塔コースというマイナーなコース。多宝塔という標識のところから進みます。登山道は細かい石で滑りやすく下りでなくて良かった。

途中海が見える見晴らしの良いところで小休止。駒ヶ林の頂上の大岩で昼食。そこで内藤さんにより餅の入ったぜんざいを用意していただきました。登山には甘いものが欠かせません。いよいよ次は弥山山頂です。島としては高いイメージのある標高535m。山頂はたくさんの方が来ています。犬を連れてくる人も。そういえば今年は戌年でしたね。

休憩をして山頂を少し下りると「きえずの霊火堂」があります。恋人の聖地だそうです。私には関係ありません。

下山のコースは大聖院コース。石段ばかりで宝満山を思い浮かべます。里見茶屋跡で休息後、大聖院まで下り、大変なにぎわいの商店街を通りフェリー乗り場まで歩きます。

十分な休息含め約6時間。距離約8km。累積標高(+691m)(-680m)。天気にも恵まれて楽しい登山ができました。皆さんありがとうございました。

入会の抱負
入会デビューは宮島弥山
16291 花田 拓二

このたび、昨年12月に日本山岳会通常会員に承認され、北九州支部に入会いたしました。

私は、北九州市育ちで、若い時に職場の先輩や同僚と地元の山や九重・阿蘇方面の山へ季節の良い時にちょこちょこ登るくらいで、本格的に登り始めたのは40歳ころからでした。しかし、一等三角点研究会での縁で北九州支部の伊藤顧問をはじめ会員の方と登ることが多くあり、この年齢にきて日本山岳会の入会を勧められて、入会することになりました。

入会するまで、日本山岳会のイメージは伝統もあり、きちんとした全国組織であり、かたぐるしいのではないかと思っていました。

しかし、12月の忘年の集いに初めて出席し、会員の皆さんが和やかに歓談し、親しみやすい雰囲気が進められ、初めての者にとっても安心することができました。早速、1月の例会宮島弥山に参加し、支部デビューを果たすことができました。また、そのあとは山岳専科を受講し、リーダーの山案内により、気持ちよく参加できたことをうれしく思っています。

私自身、加齢による体の不調もあって、会員の皆さまの足を引っ張るのではないかと心配していますが、できる限り体力保持に努め、皆さまとご一緒に楽しく登りたいと願っています。

今後ともよろしくお願いいたします。



駒ヶ林での昼食、花田会員は左端

参加者：21人

会員：内藤正美、榊俊一、大内喜代子、赤瀬榮吉、
縄田正芳、森義雄、今田智絵、大谷恵美子、
三浦利夫、塚本久嘉、町元里香、花田拓二、

準会員：藤原玲子、支部友：網塚陽子、藤井恒介、
藤本和代、太郎良嘉親、

ビジター：目原礼子、松岡文子、吉田美智子

月例山行1月28日難所ヶ滝・三郡山 人生初めての登山が雪山！ 北九503 金子 聡



難所ヶ滝前の写真

予定通り昭和の森駐車場を出発しました。河原谷コースを通過して難所ヶ滝に向かう途中、傾斜がきつく何カ所か凍っていたので初登山の私にとっては、とても苦労したように感じました。

午前10時ころ難所ヶ滝に到着し、滝に氷のカーテンが出来ているのを見て凄く感動したのを鮮明に覚えています。それから三郡山に向かう途中、アイゼンを装着しました。アイゼンは気を付けて歩かな

いとズボンの裾が破れたり、装着したことからの安心感から気が緩み転倒することもあることなどさまざまなコツを教えていただき勉強になりました。

それから三郡山の頂上で記念写真を撮った後、少し下ったところで昼休憩になりました。

そこで寒い昼食食べたカップラーメンの味は忘れられないくらい美味しく感じました。休憩が終わると櫛谷コースを下り、昭和の森駐車場に到着しました。

今回人生初めての登山が雪山で、最初はすごく不安でしたが、周りの方々のサポートのおかげで楽しく登ることができました。

コースタイム

昭和の森駐車場8:30～難所ヶ滝10:15～三郡山11:40(昼食)12:20～林道13:43～昭和の森駐車場14:20(14:30解散)

参加者：10人

会員：榊俊一、赤瀬榮吉、歳弘逸郎、町元里香、塚本久嘉、清家幸三、準会員：藤原玲子
支部友：網塚陽子、菅野正道、金子聡

月例山行 2月10日～2月11日 汗を流した伯耆大山冬山訓練



斜面を使っでの滑落停止訓練の様子

○初日 ラッセル・わかん装着・滑落停止訓練 14853 竹本 加代子

九州人にとって伯耆大山は一番身近な雪山である。積雪期における初心者の訓練の場でもある。冬の1つ1つの大山山行を重ねていくことで積雪期を経験し、蓄積させいろいろなことを学ぶことでこれからの冬山山行に生かせたらと思う。今年の大山山行は諸事情でスキー組2人と登山の6人が高速バス利用で行くことになった。

私たちバス利用組は北九州を10日午後11時に出発、米子駅に11日午前5時50分に到着。大山寺行きバス乗車時間が7時20分なので朝食を取り、大山寺到着後すぐに出発できるよう着替えをすませる。雪のため、バスは40分遅れで大山寺到着。直ぐに宿泊のやまびこ荘に直行。やまびこ荘は池田会員のかつての常宿で15年ぶりの再会となったオーナーに

大歓迎を受ける。

登山組の6人は、荷物を預け、午前9時5分元谷避難小屋を目指す。大神山神社からトレースはなく6人交代のラッセルとなる。途中林道への斜面を登り雪の斜面と化した林道に沿ってトラバースをする。元谷に到着し、小屋までわかん装着。小屋にて昼食。

下山時、林道の下斜面で滑落停止の訓練。スタンディングアックスピレイは次回までお預けとなる。午後2時やまびこ荘で車利用のメンバー5人と合流。

○2日目 雪山登山の厳しさを今後の自分の登山に活かしていきたい!

北九494 和田 敦子

2日目の12日は午前4時30分に起床し、5時30分宿を出発。大山の山頂、弥山を目指します。

前日の夜から降り出した雪は積もり、出発時もさらさらと降っていました。午前5時30分で、暗い中歩くことに慣れておらず雪に足を取られて歩きにくい。風が顔に当たって寒いし、痛いし、本格的な雪山登山の厳しさを知りました。普通の日に登れば夏山登山道の1合目、2合目などの標識も見えますが、全て雪に覆われて、道なき道の中で登山道らしき道を見つけながら歩き、先頭はラッセルしながら雪道を作っていく。勉強不足、経験不足の私には、山の形状や道のないところから道を見つける事など全くわからずとにかくついていくことが精一杯でした。

もっと山の事を学んでいかなければならないと反省し、今後の自分の登山に活かしていきたいと思いました。



5合目付近での参加者たち

5合目でアイゼンを装着して6合目につくころには雪も多く風も吹いていて、弥山に登頂するのは無理ということでそのまま下山しました。登山だけではなくスキーやスノーボードなども登ってきて6合目から滑っていく姿も見られ普通の雪山では見られない光景を見ることもできました。

6合目の小屋周辺ではラッセルの練習をしました。ラッセルという言葉は聞く機会もあったのですが、それがどういったものなのか理解してなかったので教えてもらい、初めて経験しとても勉強になりました。

さくさくの雪はとても気持ちが良いと埋もれてみたり座り込んだり、寒いけど楽しい山行でした。宿の方にも親切にいただき人の優しさを感じることもできる2日間でした。ありがとうございました。

○スキー日和のなか滑走を楽しむ

13643 関口 興洋

平成30年2月の大山冬山訓練の別動隊として池田智彦スキー部長と2人で2日間、スキーを楽しんだ。今年の初滑りは1月の白馬山麓の梅池高原であった。

毎年、シーズン初めの滑走は体力の衰えとともに、大丈夫かなとの不安がつきまとうが雪の感触を確かめながら滑り出すのはなんともいえず気持ちが昂るのが常である。

2月11日、冬山訓練のグループと別れ宿に近い豪円山のグレンデで足慣らしを行い、中の原～上の原エリアでのんびりと滑走を楽しむ。この時期は雪質もよくスキー場も混雑しておらず実に快適である。初日でもあり午後は早々に引き揚げ、近くの温泉(4年前に掘削された豪円湯院とか)に出向き露天風呂からの雪見を楽しむ。

2月12日、大山を目指す登山グループが早朝に出発したあと、池田会員とゆっくり朝食をとる。貝汁のアサリが実にふくよかである。北九州で販売されているアサリの貧弱な実と比べ物にならない。今日もスキー日和であるが大山の山頂部はガスに覆われ姿を見せない。昨日と同じく中の原、上の原で滑る。久しぶりに横滑り練習などを行う。昼ごろには日本海の弓ヶ浜が視界に入ってくる。午後の米子行きのバスに乗るため早めに宿へ帰ると登山グループもすでに戻っている。新雪が深く頂上まで行けなかった由。

福岡行きの夜行バスの出発時刻まで時間がたっぷりあり、結局は駅の案内所で教えてもらった駅前の居酒屋で時間をつぶすことになったが、地魚と地酒を満喫した。

コースタイム

伯耆大山

1日目 大山寺(やまびこ荘) 9:45～大神神社
10:20～元谷避難小屋 11:45(昼食) 12:40～
林道下部で滑落停止訓練～やまびこ荘 14:00
2日目 やまびこ荘 5:40～登山口 6:30～六合目
避難小屋 9:40～(ラッセル練習) 10:00撤退
～夏道登山口 11:40

参加者: 13人

登山: 会員: 大内喜代子、竹本正幸、竹本加代子、
縄手修、奥田スマ子、三浦利夫、塚本久嘉、
町元里香、小林英世、中畑智子、

支部友: 和田敦子

スキー: 会員: 関口興洋、池田智彦

1月21日(日) 第3回山岳専科 周りにあるもので工夫した 救助訓練「レスキュー」

北九484 廣木秀利

帆柱駐車場に午前8時30分集合。今日の専科の内容は「レスキュー」だ。4人での班別行動。午前9時前に山頂に向けて登山を開始した。専科のたびに登る皿倉山だが、リーダーのいろいろな話が大変勉強になり、また新鮮さを感じる。最初は体が慣れる

まではゆっくり歩くこと。歩行計画は高度300mにつき1時間の目安で立てる。

今日までの目的地までの高度差約500m。約1時間30分の行程となる。その他に、脈拍数を測って計算による登山時の脈拍数と比較してみたり、山の三種の神器(雨具、地図、ヘッドランプ)の話の聞いたり・・・考えながら登るうちに、予定どおり午前10時30分にビジターセンターに到着した。

午前11時から、園川先生による「レスキュー」の座学。①楽しい登山には常に危険が付きまとうも



皿倉山山頂で参加者たち

の、登山完了後必ず反省をし、次の計画に役立てること。②事故が起きた場合は、◎けが人の処置と留守本部への連絡が急務。◎グループの掌握。先生から遭難対策として次の歌詞が披露された。「お家だんだん遠くなる。今来たこの道かえりゃんせ」

午後はロープや道具を使って救助訓練。道具がなければ周りにあるものを工夫して使うことが基本。救助者を担いだり引き上げたりとグループでいろいろなことを試したが大変な労力だ。救助される方も救助する方も大変な労力や危険が伴う。各自遭難事

故を起こさないよう万全な計画を立て、注意を払って行動することを痛感した。「レスキュー」は昨年について2度目だが、また新しい知識を蓄積した。園川先生をはじめ役員の方々に感謝します。



斜面でのレスキュー訓練

参加者：12人 講師：園川陽造
 会員：磯野文雄、竹本正幸、竹本加代子、
 赤瀬榮吉、縄手修、森本信子、三浦利夫、
 山中秀正、清家幸三、花田拓二
 支部友：網塚陽子、廣木秀利

同好会活動 ポレポレ会

2月20日 荒滝山(459㍍)
 「荒滝城跡・吉部の大岩郷・そして
 猪料理」歴史と食を満喫した一日
 13523 井上禮子



荒滝山山頂の明治天皇像前で記念写真

宇部市楠こもれびの郷駐車場に午前9時集合。

参加者17人の自己紹介を済ませ、車で犬ガ迫登山口へ移動。歩き始めて直ぐに白骨化したお猿の顔と鹿を組み合わせた「あらたきさん⇒」の不気味な標識にビックリ!! よく整備された登山道を登って行くと巨岩が現れ岩窟もあり、入って見たかったがそのまま通過。直ぐに二つの巨岩が割れその隙間を通る「奇岩くぐり岩」が現れた。下に進む程に隙間は狭くなっており大丈夫かな? と思ったが全員

無事に通過。堀切や石組みを過ぎると吉部の町長「藤本東雄」の銅像がありその先が荒滝山の頂上。

ここは中世大内氏の重臣であった内藤隆春が築いた「荒滝城本丸跡」だ。山頂の巨岩の上に「明治天皇像」があり下部には「狐煙場跡」もあった。何故明治天皇像なのか? 詳しい説明版はなかったと思う。

山頂からは360度の眺望が楽しめ、国東半島、鶴見岳、由布岳も眺められるとのことだったがあいにく霞んでおりはっきりと見えなかった。

下山は日の岳(458.6㍍)方向へ進み城山作業道を下り登山口へ。今日の第2の目的でもある「民宿いやしの郷」へ。猪汁、焼き肉、そして白米の美味しかったこと。全員おかわりをしたようだ。

次は国指定天然記念物「吉部の大岩郷」へ移動。説明板に「岩郷」とは岩魂が累々と堆積して奇観を呈した「石海」。標高260㍍の地点から大きさは3ヘクタールにわたって広がっている。初めて目にする景観に驚きました。ここで解散。2台の車8人は「持世寺温泉上の湯」でゆっくりとお湯につかりました。歴史と食を楽しんだ一日でした。

CL 縄田さん有難うございました。

参加者：17人
 会員：原広美、伊藤久次郎、井上禮子、関口興洋、
 丹下洽、丹下香代子、大内喜代子、縄田正芳、
 奥田スマ子、中畑智子、
 準会員：藤原玲子、支部友：松田幸恵、
 立石シマ子 ビジター：宇都宮美知子、堤庸子、
 星出清美、伊良原公子

1月6日 第3回指導員研修 15709 山中 秀正

今回は、指導員昇級試験が行われました。今回から以前利用していた血倉山中腹の場所が閉鎖となり、北九州市若松区にある玄海青年の家で研修を行うことになりました。

実技試験のテーマは玄海青年の家のクライミングボードを利用した滑落確保と自己脱出でした。受験者が限られた時間内で確保と脱出を行いました。

その後、場所を移動し若松区の島郷市民センターの会議室を利用し、ザイルワークの理解度のテストが行われました。

ザイルワークとして、クローブヒッチ・プーリンノット・内エバンスノット・外エバンスノット・エイトノット・ピエンテヒッチ・ガルーダヒッチ・ターバックノット・ブルージックノット・二重プーリンノットなどがあり、どの程度理解しているか、受講者に対して質問がありました。

今回は実技試験、筆記試験と課題提出の試験でしたが、次回再受験を行うことになりました。



玄海青年の家クライミングボードでの集合写真

受講者：11人 講師：園川陽造
会員：磯野文雄、竹本正幸、竹本加代子、赤瀬榮吉、縄手修、森義雄、山中秀正、三浦利夫、奥田スマ子、清家幸三、三宅明子

2月3日～4日 第4回指導員研修 スタンディングアックスピレイと 強風10㍉以上を体感！！ 15710 町元 里香



激寒の星生山から下山して集合写真

今回は積雪期の九重実地研修である。

3日午後4時に「九重ここのえ青少年の家」に集合し、夕食までの2時間でザイルの訓練やスタンディングアックスピレイの問題点などを検証した。

4日朝から雪がかなり降っていて風も強い。朝食を済ませ午前8時に青少年の家を出発し、大曲登山口から研修場所である星生山(1,762㍉)へ向かう。林道から星生山北側の尾根を1,512㍉のピークを目指して登る。

わかんをつけての歩行練習をしたが、降雪が20㍉ほどどしどし石がゴロゴロしているため、とても歩きにくい。高度を上げるにつれ風が強くなり、雪が顔にバチバチとあたり痛い。時おり突風が吹くためピッケルをぐっと差し込み、じっと耐える。一旦、ピーク手前の平らな場所で立ち休憩をとった。ツェルトでビバークする練習をしようとしたが風が強くてツェルトが飛ばされてしまう。気温マイナス10℃、風速10㍉以上あったので体感温度はマイナス20℃以下だ。じっとしていると、どんどん体温が奪われていく。雪で視界がほとんどゼロのため、星生山山頂に進むことはあきらめ下山することに決まった。

大曲登山口手前の風の当たらない箇所で、雪山登山時の危険個所で安全確保をするのに特に有効なスタンディングアックスピレイの練習をおこなった。雪が柔らかいため支点が作りにくい。色々な状況を想定してスムーズに対応できるように訓練を積む必要がある。また寒さで手がかじかみ、その上厚い手袋をはめているので手先を使う作業がスムーズに進まない。やはり日頃の練習が必要だと痛感した。大曲駐車場に正午に到着。無事に研修が終了した。

受講者：11人 講師：園川陽造
会員：磯野文雄、竹本正幸、竹本加代子、赤瀬榮吉、縄手修、森義雄、三浦利夫、歳弘逸郎、清家幸三、山中秀正、町元里香

寄稿

蓋井島ヒゼンマユミの保全
～是非来てください!～

11454 井上 佑



ヒゼンマユミ

昨年10月、数年ぶりに蓋井島に渡りました。

山口県指定天然記念物ヒゼンマユミ群落(県：絶滅危惧ⅠB類)を覆う竹を再度伐採のため、カラスバト(県：絶滅危惧Ⅱ類)も飛び立つ山道に入りヤブを鉦で今季最初の道払い。西ヶ嶽山復のヒゼンマユミ群落に着くと、竹葉が繁茂して樹

木の判別も出来ないほど真っ暗です。当地の淡竹(ハチク、白竹、直径5号ほど)は高さ10mを越し、ヒゼンマユミに陽があたり、暖地性のヒゼンマユミは弱ります。竹は多少刈ったくらいでは翌年繁殖増加します。竹は地上1mで切れば、つまづかないし、切られた竹はそれでも水養分を揚げ疲弊し枯れていきます。竹の根を弱めるのが目的です。刈った竹を運ぶ手間が惜しく、その場所に立て放置し、皆伐を優先しますが、竹の葉は枯れ、ヒゼンマユミの幼木にも陽があたり、残念なのは、黄褐色のさく果が見当たらず、花が咲かなかったと推定されます。果実は、椿と共にカラスバトの餌であり、西ヶ嶽群落はカラスバトが同島の笠松群落から種を運んだ結果です。

6回島に通い、竹を刈り立て、笠松群落まで三カ所に案内標(写真)を付け、山道も整備しました。今後は、両群落の伐った竹を東南側斜面下に運び、枝を落とします。是非、竹の片づけに来てください。



「支援員だより」28号(平成30年2月発行)

発行者：山口県・公益財団法人山口県ひとつくり財団に掲載されたものを引用

「戸ノ上山登山会」
北九州市から表彰される

13532 馬場 基介



受賞会場で、右が馬場会員

北九州市では、毎年2月10日、社会福祉、教育文化、まちづくりなど様々な分野で市の発展に多大な貢献・市民の模範となる行為をされた個人や団体を表彰しています。

私が会長を務める門司区の「戸ノ上山登山会」がこのたび「まちづくり功労」分野で表彰されましたのでご紹介します。また、併せて「風師山早朝登山会」も受賞しました。

当会は、昨年、設立60周年を迎えましたが登山道の清掃・整備や山頂の避難小屋の建設・維持管理等登山者の利便性の向上を図るとともに、山の魅力を広く伝える地道な活動が認められて受賞しました。

表彰式は2月10日小倉北区のリーガロイヤルホテル小倉で900人が参加し、「市政55周年記念式典」で行われ、北橋市長・井上議長挨拶、来賓の小川福岡県知事の祝辞の後、217人・17団体の受賞者代表としてあいさつの機会を与えられた私は、「登山を通して美しい豊かな自然の保護、山に親しむ広報活動やこれを次世代に引き継ぐことにも力を入れたい」と今後の抱負と謝辞を述べました。

受賞については、ご支援・ご協力いただいた皆様に感謝しています。また、登山振興のPRができたことと自負しています。



戸ノ上山頂小屋の前でメンバー一同

◇◇月例山行のご案内◇◇

行事・山行時の申し込み方法の改正

参加者の申し込み漏れを防ぐため、今後の申し込み方法については、下記のとおりとします。

- ①参加希望者は、申込先の担当者へ、原則携帯電話のショートメールかパソコンメールで希望を送信する。
- ②できない場合は、直接担当者の携帯電話に連絡する。

4月の山行

●第1回山岳専科 募集終了

リーダー：三浦利夫

テーマ：オリエンテーション・歩行技術その他

期日：4月1日(日)

集合：血倉山ケーブルカー山麓駅駐車場

時間：午前8時30分集合

(ビジターセンターまで徒歩で移動予定)

携行品：通常登山装備一式・筆記具・昼食

申込み：三浦利夫(携帯090-2850-6020)

●杵島岳(1326㍍)～阿蘇烏帽子岳(1337㍍) 募集終了

リーダー：赤瀬榮吉

期日：4月8日(日)

集合：道の駅阿蘇(国道57号線沿い)

時間：午前8時45分集合

行程：草千里～杵島岳～烏帽子岳～草千里

コースタイム：約4時間

5、申込み：赤瀬榮吉(携帯090-7475-9748orE-mail)

●緩木山(1046㍍)～越敷岳(1061㍍)

リーダー：歳弘 逸郎

アケボノツツジを見に行きませんか

期日：4月29日(日)

場所：大分県竹田市

行程：大規模農道(宇目小国線)登山口～

緩木山～祖母山分岐～越敷岳～登山口

約8km 6時間30分の周回コース

申込み：歳弘逸郎(携帯090-4806-2878)

締め切り：4月8日(日)

5月の山行

●天主山(1494㍍) ヤマシャクヤク鑑賞登山

リーダー：塚本久嘉

天主山は九州一と言われるヤマシャクヤクの群生地です。また、この時期にはヒゴイカリソウ、ヤマブキソウ、ラショウモンカズラ、トウダイソウ、ジロポウエンゴサク等も見ることができます。

期日：5月13日(日)

集合：基山SA 午前7時20分

佐保の湯 午前8時40分

行程：鴨猪川登山口～天主の舞台～天主山～ヤマシャクヤク群生地～天主山～天主の舞台～登山口

※コースタイム：休憩時間含み 所要時間7時間

締め切り：4月22日(日)

問い合わせ、申込み：塚本久嘉(携帯090-7475-6084)

*地震で鴨猪川林道崩落の為に登山口まで約30分歩きます。また、山行日までに内大臣林道(現在地震で崩落通行止め)が通れるようになれば小松神社コースへ変更します。

●第1回指導員研修(平成30年度)

講師：園川陽造

日時：5月20日(日)

場所：若松区「玄海青年の家」もしくは「かぐめよし少年自然の家」(現在調整中)

時間：午前9時～午後3時

行程：指導員総会及び研修

携行品：一般山行装備及びクライミング装備、筆記道具、昼食類

申込み：山中秀正(携帯080-2754-8370)

締め切り日：5月6日(日)

●英彦山山開き 雨天決行

リーダー：三浦利夫・清家幸三

とき：5月26日(土)～27日(日)

ところ：英彦山

行程：26日(土)前夜祭(英彦山青年の家)

27日(日)山頂で山開き神事(北西尾根ルート予定)

参加費用(宿泊者のみ)：1,720円(ｼｰｯ180円、

夕食730円、朝食420円、おにぎり弁当390円)

申込み：三浦利夫(携帯090-2850-6020)、

清家幸三(携帯090-8664-4411)

締め切り：当日参加者は5月5日(土)、

前夜祭参加者は4月21日(土)

※前夜祭に参加される方は、「英彦山青年の家」を利用しますが、1ヶ月前までの申し込みが必要なため、早めの締め切りとします。



●坊がつるキャンプとミヤマキリシマ

リーダー：小林英世

期 日：6月2日(土)～3日(日)

集 合：長者原駐車場に午前10時

行 程：長者原～雨ヶ池越～坊がつるキャンプ場
(泊)～平治岳～大船山

募集要項：

①テント泊のため、参加者は坊がつるキャンプ場
まで共同装備のテントや鍋釜食料を携行します

②キャンプのマナーを守れる人

申し込み：小林英世(携帯090-4896-5884)

締め切り：4月30日(月)

注：テントや食料の関係から人数制限があります。

●岩登り教室

リーダー：竹本正幸

と き：6月10日(日)

集 合：午前8時30分 平尾台(茶ヶ床園地)

場 所：平尾台(唐手岩)

行 程：茶ヶ床～唐手岩(岩登りトレーニング)～
茶ヶ床園地(午後3時)

装 備：一般装備、ヘルメット、ハーネス、
カラビナ、シュリング、エイトカン、
クライミングシューズ、昼食

共同装備：ロープ(50m×2本・40m×1本)

申込み：竹本加代子(携帯090-9253-1260)

締め切り：5月20日(日)

●森林保全巡視員植物観察会

(森林保全巡視員一斉巡視)

森林保全巡視員の研修の一環として、また、全員
による一斉巡視として、平尾台の植物観察会を実施
します。

と き：6月10日(日)

行 程：

午前10時に平尾台自然観察センターの駐車場に集
合し、午前10時15分出発。茶ヶ床園地を經由して、
広谷湿原まで歩きます。広谷湿原は、東筑紫学園高
校の生徒たちがラムサール条約の締結を目指して活
動をしている湿原です。本会としても、その活動を
後援していますので、一度、見ていただきたいと思
います。広谷湿原にて昼食をとり、広谷湿原にて折
り返します。来た道に戻り、平尾台自然観察センター
の駐車場には、午後3時頃に帰着し、解散する予定
です。なお、立花山グリーンガイドの方々に、ご協
力をお願いしています。

諸注意：森林保全巡視員の方は、腕章を着用し、
委嘱証明書を持参のうえ、必ずご参加ください。

参加希望者は、5月12日(土)までに、ご連絡くだ
さい。

連絡先：磯野文雄(携帯090-4989-5961)

また、皆様のご参加もお待ちしております。



●第2回山岳専科

リーダー：三浦利夫

テーマ：山岳気象その他

期 日：7月8日(日)

集 合：血倉山ケーブルカー山麓駅駐車場

時 間：午前8時30分集合

(ビジターセンターまで徒歩で移動予定)

携行品：通常登山装備一式・筆記具・昼食

申込み：三浦利夫(携帯090-2850-6020)

締め切り：6月10日(日)

●三里河原テント泊

・・・大崩の秘境・・・三里河原でテント泊

リーダー：塚本 久嘉

と き：7月14日(土)～16日(祝)

集合場所：祝子川温泉美人の湯

集合時間：正午

行 程：

14日大崩山登山口～大崩山荘～吐野(テント泊)
3時間

15日吐野～金山谷～縦走路～ブナの三差路～お姫山
～五葉岳(1569m)～夏木山(1386m)～黒岩滝
～瀬戸口谷～吐野(テント泊)5時間30分

16日吐野(テント撤収)～喜平越取り付～喜平越～
木山内岳(1401m)～喜平越～大崩山荘～大崩山
登山口 4時間30分 下山後に美人の湯にて入
浴後解散

難易度：渡渉、岩場、ハシゴ、クサリ場、スラブの
トラバースあります。

締め切り：6月11日(月)

問い合わせ、申込み：塚本久嘉(携帯090-7475-6084)

※参加者確定後ミーティングを行い装備や食事等
の打合せをします。

※コースには数カ所の渡渉があり雨の予報及び前
日の上祝子(大崩橋)の水位が80mm以上の場合は
中止します。



※特別山行の参加希望者は、締め切り後、概要説明会を開きます。人員の制限がありますので諸事情を勘案し、リーダーが参加者を決定します。なお、希望の方は6月10日の岩登り講習会を受講してください。

●8月 北アルプス【常念山脈登山】山小屋泊

リーダー：森義雄、サブリーダー：大谷恵美子

とき：8月22日(水)～26日(日)※26日は予備日

行程：現地まで、公共交通機関を利用する予定

22日 北九州8:00発～JR新幹線～名古屋～中央本線～松本～穂高 周辺宿で宿泊

23日 穂高4:00～タクシー～ノ沢登山口(1320[㍉])5:00発～常念小屋～常念岳(2857[㍉])～蝶槍～14:00着蝶ヶ岳ヒュッテ(2677[㍉])

(蝶ヶ岳ヒュッテ泊)

所要時間：約9時間、標高差約1350[㍉]

24日 蝶ヶ岳ヒュッテ発5:00発～大滝山(2614[㍉])～12:00着 徳本峠(2216[㍉])～明神橋～上高地

(1505[㍉]) 山岳研修所(泊)

所要時間：約9時間、標高差約1100[㍉]

25日 上高地～バス～新島々～松本～JR線～名古屋～小倉 19:00着

※26日(予備日)

場合により24日以降に霞沢岳登山あり

募集人員 山行人員(最大8人)

参加条件 健康状態良好な者、山岳保険(遭難保険加入)加入の者、

※希望者で打ち合わせ後、事前訓練2回実施(必須)

装 備 夏山登山装備(個人)、共同装備あり

費 用 約7万円～8万円(往復JR線使用含む)

※日程が延びた場合は別途

その他 締め切り次第、参加者で打ち合わせを行います。

締切日 5月1日(火)

申し込み先 森義雄(携帯090-4475-7799)

●9月 南アルプス

仙丈ヶ岳3033[㍉]・甲斐駒ヶ岳2967[㍉] 山小屋泊

リーダー：清家幸三、

サブリーダー：吉田克己、藤井恒介

期日：9月20日(木)～9月23日(日) 予備日24日(月)

行程：(ワンボックス10人乗り1台)

20日小倉駅前午後1時出発～途中、多賀SAで仮眠～21日仙流荘午前5時30分着

21日北沢峠に到着後、午前8時出発～仙丈ヶ岳～

午後3時下山 山小屋泊

22日午前4時起床、朝食後5時出発～甲斐駒ヶ岳へ～午後3時下山 山小屋泊

23日午前6時起床、朝食後、午前7時20分北沢峠発～午後8時小倉駅前着解散

募集人員：9人

参加条件 健康状態良好な者、山岳保険(遭難保険加入)加入の者、

※希望者で打ち合わせ後、事前訓練を行います

募集締め切り：6月1日(金)

連絡先：清家幸三(携帯090-8664-4411)

予算：50,000円/1人(予定)

◇◇ポレポレ会のご案内◇◇
野の花を愛で、史蹟を巡り、
のんびり山歩きを楽しみませんか
担当：丹下 治
ゆっくり鑑賞しながら歩きます

●ポレポレ山行計画

○4月19日(木)小倉ヶ辻(吉母小富士)

○5月24日(木)合頭山・獅師岳(オオヤマレンゲ)

○6月7日(木)星生山・肥前ヶ城(ミヤマキリシマ)

○7月19日(木)犬鳴山(狗鳴山)(観瀑)

○8月30日(木)姫島(矢筈岳)(一等三角点)

◆集合時間や行程についての問い合わせ先
丹下 治(携帯090-3732-8843)

英彦山山頂トイレ掃除の支部当番
平成30年4月から9月までの計画

英彦山山頂トイレの清掃日は以下の予定です。
会員皆様のご参加協力をお願いいたします。

期日：4/25(水)、6/6(水)、7/18(水)
8/29(水)

※参加できる方は、3週間に自然保護担当奥田ス
マ子(携帯080-8589-0903)までお申し込みくだ
さい。

当日、英彦山別所駐車場に午前9時集合し、山
頂へ向かいます。

会 務 報 告

●平成30年1月定例役員会議事録

日 時：平成30年1月8日(月)17:00~19:00

場 所：当支部ルーム(毎日会館 1F)

参加者：関口興洋、日向祥剛、磯野文雄、榊俊一、
丹下洽、丹下香代子、大内喜代子、
竹本正幸、森義雄、縄田正芳、縄手修、
奥田スマ子、塚本久嘉、馬場基介、
池田智彦、
園川陽造顧問、伊藤久次郎顧問

議題

(1) 会員の異動状況

① 新入会員

- ・ 通常会員：花田拓二、
- ・ 支部友：菅野正道、金子聡、渡辺直樹、城戸剛

② 退会会員：古木義邦

③ 会員数：通常会員：74人(74)、準会員：2人、 支部友：40人(26)、会友：4人 合計：120人

(2) 会費未納付状況

通常会員：8人、支部友：4人、会友：2人

(3) 山行・行事報告

- ・ 11月3日(金)~4日(土)宮崎ウエストーン祭・丹助岳登山(16人)
- ・ 11月12日(日)英彦山青年の家「ファミリー登山」(サポート5人)
- ・ 11月18日(土)~19日(日)熊本支部60周年記念式典(7人)
- ・ 11月23日(木)英彦山トイレ清掃(4人)
- ・ 12月26日(日)第3回山岳専科(7人)気象
- ・ 12月2日(土) 年次晩餐会(7人)・
29年度支部連絡会議(関口、竹本)

- ・ 12月3日(日)記念山行(足和田山)関口、馬場、大内、竹本(4人)

- ・ 12月9日(土)福岡支部60周年記念(記念講演：猪熊隆之気象予報士)7人

- ・ 12月16日(土)忘年の集い(31人)

- ・ 12月25日(月)ルーム大掃除(10人)、
支部報発送作業

- ・ 1月3日(水)英彦山トイレ清掃(8人)

- ・ 1月6日(土)第3回指導員研修(12人)

- ・ 1月7日(日)宮島弥山(新春登山)(21人)

(4) 山行・行事計画

- ・ 1月21日(日) 第4回山岳専科
- ・ 1月28日(日)三郡山(難所ヶ滝)
- ・ 2月4日(日)第4回指導員研修

- ・ 2月10日~12日大山冬山訓練・スキー合宿

- ・ 2月14日(水) 英彦山トイレ清掃

- ・ 3月3日~4日岳滅鬼峠~小石原(英彦山峰入り)

- ・ 3月20日(火)幸幼稚園卒園児ハイキングサポート

- ・ 3月28日(水)英彦山トイレ清掃

(5) ポレポレの会

- ・ 11月16日(木) 桧原山

- ・ 1月11日(木) 相原山

- ・ 2月22日(木) 荒滝山

- ・ 3月29日(木) 障子ヶ岳

- ・ 4月19日(木) 小倉ヶ辻

審議事項

1. 各委員会の29年度報告と30年度の計画(2~3分程度/人)

- ・ 総務委員会・財務委員会・山行委員会・安全委員会・技術指導委員会

- ・ 渉外交流委員会・自然保護委員会・ルーム委員会

- ・ 30年度予算計画について(縄田財務委員長)

2. 29年度支部連絡会議報告

- ・ 登山計画書の提出とチェック体制について

- ・ 支部事業に関するアンケート結果について

- ・ 旅行業法について

3. 本部への登山計画書提出とそのチェック体制について

- ・ 月例山行は、山行委員長⇒三役、安全委員長に提出チェック後に事務局長提出。

- ・ 個人山行は、安全委員長⇒事務局長に提出する。

- ・ 本部への提出は、事務局長が行う。

4. 家裁が行う短期補導委託(登山委託)は、正式な要請があれば全面的に協力する。

5. 英彦山清掃登山について

- ・ 責任者：日向副支部長、添田町役場に打合せ訪問。

6. 第19回通常総会について

- ・ 4月21日(土)「あじさいの湯」で実施する。

7. ラムサール条約推進委員会の後援については、公益社団法人日本山岳会の後援で承認された。

8. その他

- ・ 遠方への山行は、できるだけ公共機関を利用する。

- ・ 締め切りを最低でも2週間前までにして、計画書を早く提出、チェックする。

- ・ 計画書の提出は、メーリングリストを作り送信する。(塚本)

- ・ 会員はスポーツ保険への加入をビジターには旅行保険の加入を勧める。(大内役員調査)

- ・ 役員は、月に1回以上ルーム当番をする。

- ・支部ホームページの立ち上げについて(日向副支部長)

1月12日14時30分～ルームにて準備委員会開催。

*役員会の後、ルームにて新年会を行う。

次回定例役員会 3月7日(水) 予定
以上

●1月臨時役員会議事録

日 時：1月24日(水)16時～17時40分

場 所：当支部ルーム(毎日会館1F)

参加者：関口興洋、磯野文雄、榊俊一、丹下洽、
大内喜代子、竹本正幸、縄田正芳、
奥田スマ子、塚本久嘉、馬場基介、
池田智彦、
(日向祥剛15時～15:30入室)

議題

- (1) 関口支部長より、大きなトラブルがあったので役員全員に報告、共有してほしいため、臨時役員会を招集した。
- (2) 由布岳(個人山行)でのトラブルの報告(大内役員による報告)
- (3) 今後の、北九州支部の対応として、月例山行は早期に申込みを締切り、チェック体制を確立する。
 - ①日帰りは、3週間前に締切
 - ②宿泊は1か月前に締切
 - ③日本アルプス等(海外遠征を含む)は3か月前に締切
 - ④ポレポレは2週間前に締切
- (4) 計画書は、今後住所、連絡先を必ず記入する。本部の「計画書ひな形」を参考にする。
【以下、別議題】
- (5) ラムサール条約登録活動の事務局より新しいパンフ作成の連絡あり。後援として日本山岳会の名称をフルネームで掲載する。(公益社団法人日本山岳会)
- (6) 門司区役所より風師山の地図を作るので案内してほしいと依頼あり。
- (7) 総会は4月21日「あじさいの湯」15時から
会費5,500円
- 8) ホームページ開設の打ち合わせ
1月12日(ルームにて)
日向氏のご厚意でノートパソコンを購入する。
その後、担当者を決めて取り組む。

以上

●平成30年3月定例役員会議事録

日 時：平成30年3月7日(水)18時～20時30分

場 所：当支部ルーム(毎日会館1F)

参加者：関口興洋、日向祥剛、磯野文雄、
竹本正幸、丹下洽、榊俊一、丹下香代子、
縄田正芳、縄手修、森義雄、奥田スマ子、
塚本久嘉、馬場基介、池田智彦

欠席者：大内喜代子

議題

【報告】

(1) 会員の異動状況

- ①新入会員なし、
- ②退会者：青木信也(会員番号14715)3月末
- ③通常会員74人、準会員2人、支部友40人、
会友4人 合計120人

(2) 山行・行事報告

- ・1月21日(日)第4回山岳専科(13人)
- ・1月28日(日)三郡山～難所ヶ滝(10人)
- ・2月4日(日)第4回指導員研修(12人)
- ・2月11日～12日大山冬山訓練・スキー合宿
(11人+2人)
- ・2月14日(水)英彦山トイレ清掃(5人)
- ・3月4日(日)岳滅鬼峠～小石原(英彦山峰入り)9人

(3) 山行・行事計画

- ・3月11日(日)指導員研修
- ・3月17日(土)～18日(日)
九重山系立中山・三俣山
- ・3月20日(火)さいわい幼稚園児サポート
(9:30少年の森)
- ・3月28日(水)英彦山トイレ清掃
- ・4月1日(日)山岳専科
※ 計画書提出状況報告

(5) ポレポレの会

- ・2月22日(木)荒滝山(17人)
- ・3月29日(木)障子ヶ岳
- ・4月19日(木)小倉ヶ辻
※計画書提出状況報告

(6) 英彦山清掃登山について(2/20添田町役場に協力依頼)

【審議事項】

1. 支部友が参加できる行事について(確認事項)
支部の行事は全て参加できる。
(但し、月例山行で人数に制限があるときは、
リーダーが人選する)

2. 小倉家庭裁判所が行う短期補導委託山行について(下見は3月18日)
3. 山行参加申込みについて人数を限定する場合は、申込み期間を指定する。(開始と締切日) 訓練等を行い、最終的にはリーダーが人選する。
4. 留守本部とそのチェック体制について
 - ①計画書の提出とチェック体制、下山管理の内規案を磯野副支部長が作成する。
 - ②計画を受理し検討する機関として「安全委員会」を「安全対策委員会」に変更する。
 - ③留守本部は「安全対策委員会」が担当する。
 - ④計画書フォーマットを支部報に掲載して会員に周知徹底する。
5. 第19回通常総会案内と議案書作成

議案書(29年度事業報告、会計報告、監査報告、役員追加、30年度事業計画、予算案、計画書の提出・遭難対策運用内規について等) 次回臨時役員会までに作成する。

総会出欠はメールにて配信する。

メールアドレスのない方には、はがきを同封する。
6. 初代支部長の吉村支部名誉会員の所蔵品の寄贈の取り扱いについて
 - ①図書については整理して、その後どうするか検討する。
 - ②山の道具・備品については、分別してオークションにかける。
7. 支部創立20周年記念行事実行委員会について(関口支部長提案)

次回役員会にて実行委員会を決める。

期日：2020年10月24日(土)～25日(日)
8. 会員名簿を作るときの個人情報保護に関する注意事項について
 - ①法改正により、全ての事業者が個人情報保護法が適用される。
 - ②会員に対しては個人情報の利用目的をあらかじめ特定し、通知することを伝える。
 - ③情報の保管管理については、厳正に行う。
9. 支部報発行予定は4月9日ころ、総会議案書を同封する。

次回臨時役員会 3月30日(金)

以上

ルーム便り (12月～3月)

- 12月20日(水) 版画同好会(6人)
 12月21日(木) 支部報原稿とりまとめ(森)
 12月25日(月) 支部報発送(10人)
 1月8日(月) 定例役員会
 1月11日(木) ポレポレ打ち合わせ
 1月12日(金) ホームページ打ち合わせ(4人)
 1月17日(水) 版画同好会(8人)
 1月22日(月) スポーツ保険打ち合わせ(大内)
 1月24日(水) 臨時役員会
 1月24日(水) 版画同好会
 1月31日(水) 山行委員会
 2月7日(水) 版画同好会、図書整理
 2月14日(水) 版画同好会
 2月21日(水) 版画同好会
 3月6日(火) 山行打ち合わせ(3人)
 3月7日(水) 定例役員会

登山保険のお知らせ

登山をするために保険に加入しましょう！
 登る前には必ず自分の保険内容を確認し、登山届を提出しましょう！
 まだ保険に未加入の方は、事務局までお尋ねください。

○スポーツ保険の紹介

加入手続きを行った4人以上のアマチュアの団体・グループの構成員を被保険者として加入できる保険です。保険には、①傷害保険、②賠償責任保険、③突然死葬祭費用保険などを一括契約した補償制度です。保険の価格も比較的安い。

○日本山岳会の団体登山保険の紹介

日本山岳会独自の登山保険
 加入対象者(被保険者)：日本山岳会通常会員
 年齢制限なし、山岳登攀コース・軽登山コースあり。

他にも多くの保険があります。
 対象とする登山の山で、技術が伴う内容やレベルなどで大きく保険内容が変わりますので、自分にあった保険に加入してください。

サロンのお知らせ

小倉サロン

開催日：毎月第4水曜日
 場 所：小倉北区魚町「コール天」
 申込み：竹本正幸（携帯090-6739-9251）

4月25日(水) 午後6時から
 6月27日(水) 午後6時から

博多サロン

開催日：5月10日(木) 午後6時30分
 場 所：丸海屋博多駅築紫口店 18時30分
 ☎092-432-4455
 会 費：3,500円(飲み放題)
 申込み：赤瀬榮吉(携帯090-7475-9748 or X-LL)
 締切り：5月3日(木)



居酒屋「コール天」

●場所：小倉北区魚町1-2-23 桧山ビル2F
 TEL:093-522-0565
 JR鹿児島本線 小倉駅南口から
 ※中央銀天街方面に向かい徒歩5分

※北九州支部は小倉サロンでお世話になっています



歌声喫茶を楽しむ会

毎月10日

時間 19時～

会費 2,000円

スナック

飲物・お菓子・
果物等準備して
おります!

ぎんなん
銀杏

TEL.093-541-5516

童謡・懐メロ・寮歌・校歌・軍歌・ラジオ歌謡・山の歌

〒802-0004 北九州市小倉北区鍛冶町1-2-2(坪根ビル)